

## 五條市窓口改革支援業務委託に係る公募型プロポーザル選定審査要項

令和7年10月15日付けの公告に基づく公募型プロポーザルの審査基準については、この要項によるものとする。

### (1) 審査方法

候補者の選定方法を基に下記の評価方法により審査し、評価得点の合計点が最も高い者を受託候補者とし、次に高い者を次点者とする。なお、評価得点の合計点が同点の場合は、提案見積金額の低いほうを上位とし、次点者についても同様とする。

なお、選定委員会が一定の評価得点に達した団体がないと判断する場合は、受託候補者なしとします。一定の評価得点とは、9名の選定委員の合計評価得点の合計点が総評価得点2700点の7割以上であることとする。

### (2) 審査基準

番号	提案内容（評価項目）		評価方法（評価基準）	評価 得点 配点	得点				
					A	B	C	D	E
①	業務管理	実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務の目的、条件、内容の理解度が高く、課題や留意事項、対応策が具体的に示されている場合に優位に評価する。</li> <li>A. 非常に正しく理解</li> <li>B. 正しく理解</li> <li>C. 概ね理解</li> <li>D. 理解度がやや低い</li> <li>E. 理解度が低い</li> </ul>	30	30	24	21	15	9
		業務推進方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の管理手法（進捗管理・問題把握等）の妥当性が高く、総合窓口を支えるシステムとの整合性がとれている場合に優位に評価する。</li> <li>A. 非常に妥当性が高い</li> <li>B. 妥当性が高い</li> <li>C. 概ね妥当</li> <li>D. 一部不都合な部分あり</li> <li>E. 多くの不都合な部分あり</li> </ul>	20	20	16	14	10	6
①	業務管理	役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務遂行にあたり、入札者と本市の役割分担を示したうえで、本市職員の負担が最小限となるよう考慮している場合に優位に評価する。</li> <li>A. 十二分に考慮されている</li> <li>B. 十分に考慮されている</li> <li>C. 考慮されている</li> <li>D. やや不十分である</li> <li>E. 不十分である</li> </ul>	20	20	16	14	10	6

		業務スケジュール	・業務推進における具体的なスケジュールについて、業務繁忙期や職員負担が軽減されるように考慮されている場合に優位に評価する。 A. 十二分に考慮されている B. 十分に考慮されている C. 考慮されている D. やや不十分である E. 不十分である	20	20	16	14	10	6	
		研修計画	・職員が積極的に業務改革や BPR を進めていくことができる研修内容で適切な回数・形式となっている場合に優位に評価する。 A. 十二分に相応しい提案である B. 十分に相応しい提案である C. 相応しい提案である D. やや不十分である E. 不十分である	30	30	24	21	9	0	
②	特定テーマに関する提案	ツールの全体像	・提案するツールの全体像・特徴・機能が分かりやすく示されている場合に優位に評価する。 A. 十二分に網羅されている B. 十分に網羅されている C. 網羅されている D. やや不十分である E. 不十分である	20	20	16	14	6	0	
		ツールの機能性・操作性	・業務処理に必要な機能（ヘルプ処理やデータ抽出機能）が示されており、画面展開や操作方法が分かりやすい場合に優位に評価する。 A. 十二分に適切である B. 十分に適切である C. 適切である D. やや不十分である E. 不十分である	30	30	24	21	9	0	
		運用保守体制	・保守体制、対応内容、対応時間が適切な場合に優位に評価する。 A. 十二分に適切である B. 十分に適切である C. 適切である D. やや不十分である E. 不十分である	20	20	16	14	6	0	
③	当該業務の実施体制	・業務実施体制の妥当性について評価する。 ※下記のア又はイに該当する場合は特定しない。 ア 再委託する場合の内容が、7.（5）②記載の主たる部分である場合 イ 業務の分担構成が不明確又は不自然な場合。			数値化しない ※ア又はイに該当する場合は、失格とする。					
④	追加提案	・仕様書に未記載の事項で、本市にとって有益な追加提案がある場合に優位に評価する。 A. 十二分に有益である B. 十分に有益である C. 有益である D. やや不十分である E. 不十分である			20	20	16	14	10	6
⑤	企業の同種又は類似業務の実績	・過去5年間（令和2年度以降）に受注し完了した同種又は類似業務等の実績がある場合に評価する。 ※類似業務より同種業務の実績数を優先			20	20	16	14	10	6

		<p>する。</p> <p>A. 同種業務の実績が3件以上ある</p> <p>B. 同種業務の実績が2件以上ある</p> <p>C. 同種業務の実績が1件以上ある</p> <p>D. 類似業務の実績が1件以上ある</p> <p>E. 実績がない</p>						
⑥	主たる担当者の業務の実績、 経験及び能力	<p>過去5年間（令和2年度以降）に従事し 完了した同種又は類似業務等の実績が ある場合に評価する。</p> <p>※類似業務より同種業務の実績数を優先 する。</p> <p>A. 同種業務の実績が2件以上ある</p> <p>B. 同種業務の実績が1件以上ある</p> <p>C. 類似業務の実績が2件以上ある</p> <p>D. 類似業務の実績が1件以上ある</p> <p>E. 実績がない</p>	20	20	16	14	10	6
⑦	参考見積	<p>【価格点の計算式】</p> <p>価格点＝配点 × 入札参加者中の最低入 札額 / 当該入札者入札額</p> <p>※提案内容に対して見積もりが不適切な 場合、2.（6）記載の提案上限額を超 える場合は、特定しない。</p>	50					
合計評価得点			300					